

小学校3・4年生～

2021年3月 no.77

# よんでネット\*

2021

春号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

## 「あららの はたけ」 村中 李衣…作 石川 えりこ…絵



偕成社〔9134〕

いなか<sup>いなか</sup>に引こした4年生のえりは、じいちゃん<sup>ばい</sup>の  
すすめで自分だけの火田<sup>はじ</sup>を始める。そこで出会う  
自然<sup>しぜん</sup>の姿<sup>すがた</sup>は「あらら」ということばかり。クリを  
きれいにふたつにわって食べるイノシシ、ふまれたら  
べつ<sup>べつ</sup>の場所<sup>ばしょ</sup>にひよいと根<sup>ね</sup>をのばす雑草<sup>ざうそう</sup>たち。  
えりは親友<sup>しんゆう</sup>のエミに手紙<sup>てがみ</sup>を書く。エミからきた  
返事<sup>へんじ</sup>には…

## 「ノウサギのムトゥラ 南部アフリカのむかしばなし」

ビヴァリー・ナイドラー作 ピート・フロブラー絵 さくまゆみこ訳

むかしむかし、まだ人間<sup>にんげん</sup>と動物<sup>どうぶつ</sup>がおしゃべりできた  
ころのお話です。あるほうあなに、ノウサギの  
ムトゥラがすんでいました。このころはまだ、ノウサギのしっぽは  
長くてふさふさしていたのです。そのしっぽがどうして  
短<sup>みじか</sup>くなったのかは、このお話を読んでみてくださいね。  
体が小さいのに、かきこく、いたずら好きなムトゥラの  
お話が8つ入っています。



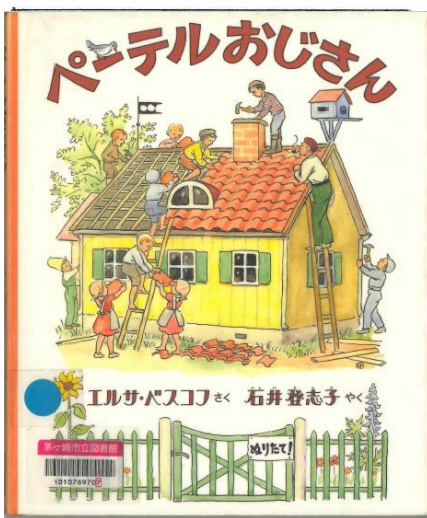
岩波書店〔994ナ〕

# 「そらのうえのそうでんせん」 鎌田歩

「<sup>そう ぞん せん</sup>送電線」って知ってる？ <sup>はつ ぞん しょ</sup>発電所から<sup>まち</sup>町に<sup>でん き</sup>電気を  
とどける<sup>でん せん</sup>電線だよ。カチッ、がしゅん、カチッ、がしゅん  
送電線を点けんする<sup>てん</sup>ラインマンが、フックをかけて鉄<sup>てつ</sup>こうに  
<sup>のぼ</sup>登っていく。まへんは<sup>ち じょう</sup>地上50メートル。体をささえている  
のは1本の送電線だけ。さあ、ラインマンと  
いっしょに、空の上の送電線を点けんだ。



アリス館(E・絵本のコーナー)



# 「ペーテル おじさん」

エルサ・ベスコフ 著 石井登志子 訳

ものしりなペーテルおじさんは、鳥のさえずりをまねたり、  
ケガの手当てをしてくれたりします。小さな船も作っ  
てくれます。ぼくらはおじさんが大好きです。ある日、  
古くなったおじさんの家がとりこわされそうになりました。  
ぼくらの出番です。みんなでおじさんの家をなおすんだ。

フェリシモ出版(E・絵本のコーナー)

# 「ちいさな虫のおおきな本」

ユー・ヴァル・ゾマー 日本語版監修 小松貴

虫はどれも同じ？ いいえ、そんなことはない。  
この本をひらくと、いろいろな種類の虫と出会えるよ。  
水の上を歩く虫は どうしてしずまないの？ アリはなぜ  
一列で行進するの？ そんなひみつもたくさん  
のっている。大きな本のページに広がる、小さな虫たちの  
世界をのぞいてみよう。



東京書籍 [48ゾ]